

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

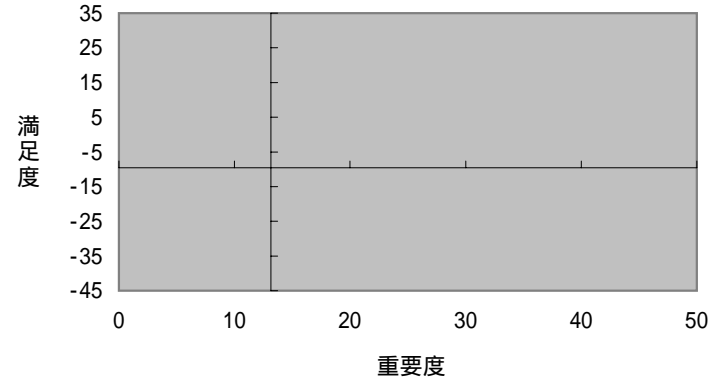
施策名 (小項目)	火葬場・墓地	コード	作成者	役職	環境課長
		01-01-16		氏名	有吉一博
				電話	64-1821

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	備前市内外の火葬を必要とするものために、適正な火葬執行を行う必要がある。また、墓地を必要とする市民のために市有墓地の整備と維持管理を行う。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	備前・日生の両地域にある火葬場は、今後維持管理の面から1施設へ統合について検討する必要がある。また、日生地域の墓地需要に対し墓地の整備が十分ではないことから、新しい墓地整備が必要である。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>火葬場の適正な管理運営</li> <li>市営墓地の整備と管理</li> <li></li> <li></li> <li></li> <li></li> </ul>	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			



調査結果に対するコメント、市民の反応等

調査対象でない施策の場合は、市民の反応等

利用料金が統一されていないことへの不満がある。また、日生地域の墓地に空区画がないことから墓地整備への要望が多い。

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 市営墓地の区画数	目標 区画	1,518	1,518		1,668		市内全域の市営墓地数
	実績 区画	1,518	1,518				
	達成率 %	100.0	100.0				
2 斎場年間の施設利用者数	目標 件	395	406.0				使用頻度の把握
	実績 件	395	406.0				
	達成率 %	100.0	100.0				
3	目標						
	実績						
	達成率 %						
4	目標						
	実績						
	達成率 %						

施策構成事務事業の評価

担当課長評価

施策を構成する事務事業名	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業分類	事業費(単位:千円)						優先順位 その他
				H17		H18		H19		
				直接事業費	人件費	直接事業費	人件費	直接事業費	人件費	
1 備前斎場維持管理事業	C	備前斎場維持管理事業	維持管理	15,772		8,839				
		備前斎場整備事業	ハード事業	16,989	15,263	9,240	14,195			
		県トラック協会会費	ソフト事業	33		33				
2 日生斎場維持管理事業	B	日生斎場維持管理事業	維持管理	11,112		11,198				
		日生斎場整備事業	ハード事業	756	1,240	0	2,050			
		諸島地区葬祭事業費補助金	ソフト事業	32		0				
3 和気北部衛生施設組合斎場負担金事業	C	和気北部衛生施設組合斎場負担金	法定事務	235	5,167	5,358	225			
4 施設管理事業	C	市有墓地施設管理事業	維持管理	539		1,709				
		市有墓地整備事業	ハード事業	1,399	4,600	0	2,370			
		市債元金・利子償還事業	内部管理	952		5,848				

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)

	H17	H18	H19
	74,089	61,065	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
民間	斎場運営事業の委託	葬儀施設使用について、市民は民間へお願いしているケースが増加しており委託への取り組みが必要と考える。

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	4	適正な事業実施ができていない	3	適正な火葬執行を行うための料金の統一ができていない。
2 事業構成の適当性	3	妥当である	3	同 左
3 施策の有効性	4	必要な施策である	4	同 左
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	日生斎場を廃止し備前斎場の1本化ができないか。また、備前斎場の一部民間委託を検討すること。市有墓地の造成と適正管理が必要である。		利用料金の統一化	
二次評価者コメント	将来的には、火葬場の一本化を図る。		平成20年度予算の方向性 前年度並みの配分	